

「香風」



平成29年
12月21日
第16号
発行者 富山



「神は乗り越えられる試練しか与えない」

これは聖書からの引用です

「神は真実な方ですから、あなたがたを耐えられないほどの試練に会わせることはありません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えてくださいます。」

「コリント人への第一の手紙」

神はなぜ試練を与えられるのでしょうか？それは、わが子を教育しない親はいないといえは分かりやすいのではないのでしょうか。親は自分の子供に見返りを求めない愛で愛しています。と同時に親はわが子が人として正しい大人になってほしい、相手の痛みや苦しみが分かるやさしい、立派な大人になってほしいと思うから教育し、しつけをします。

「鞭を控えるものはその子を憎むものである。子を愛するものは勤めてこれを懲らしめる」箴言

また、教師も生徒の限界を正確に知っているの、生徒がつぶれてしまうような、行き過ぎた教育はしません。試練とともにちょうど良いときに脱出の道も備えられるのです。

脱出の道(方法)は、時にはあなたの願ったとおりになりますが、時には困難に耐える力が与えられたりする場合があります。(かん難が忍耐を生み出し、忍耐は練られた品性を生み出し、練られた品性は希望を生み出すと知っているからです)

いよいよ冬休みになります。三年生にとっては冬休みをどう過ごすのが高校入試に向けて大きな鍵を握るものだと思います。目標は決まったのだから、それに向かって計画的に受験勉強を進めてください。

冬休みだからといって、生活時間をルーズにしまうと、脳の活動時間帯がずれてしまいますから、肝心の入試の時間とのズレができて本番でうまく作用しないことになってしまいます。休み明けにはすぐに入試が待っていますからくれぐれも生活時間帯のズレを生まないよう、規則正しい生活を送らせてください。

せつかくの年末年始ですから、家庭での大掃除や年始の準備など子ども達にも手伝いをさせてください。

日本の年越しの習慣をきちんと後世に伝えていくのも大切なことだと思います。
よいお年をお迎えください。



「日常六心」

- 「おはようございます」 という明るい心
- 「ハイ」 という素直な心
- 「おかげさま」 という謙虚な心
- 「すみません」 という反省の心
- 「私がします」 という奉仕の心
- 「ありがとう」 という感謝の心

感謝の心や素直な心、を持った子どもたちを育てていきたいと思っています。

どうぞご家庭でも日常六心の心を育てていただけませんか

冬休みに子ども達と
取り組みましょう!!

人権作文入賞者表彰

2年2組の末次佑季さんが法務省主催の人権作文コンクールで県の優秀賞に入賞しました。11月29日(水)に八女法務局の所長さんがお見えになり表彰を受けました。とても良く書いていた作文でした。おめでとうございます。

